



水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定の更新が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



3月16日

君津広域水道企業団
(認定番号：JWWA-GLP034)

第168回水質試験方法等調査専門委員会（3月8日）

厚生労働省から、対象農薬リスト6項目の目標値変更、水質検査方法告示の改正等について説明があった。その後、各部会で懸案事項及び検量線の妥当性評価方法について検討を行った。

第6回水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会（3月9日）

水道用ポリ塩化アルミニウムの規格改正においては、衛生性の確認を終了しパブリックコメント（案）を作成する。

また、「水道用資機材－浸出試験方法（JWWA Z 108）」、「水道用薬品の評価試験方法（JWWA Z 109）」、「水道用資機材－浸出液の分析方法（JWWA Z 110）」の合本化を進めている。

今後、水道用浄水処理薬品としての有機高分子凝集剤（ポリアクリルアミド）とオゾン・過酸化水素による促進酸化処理の導入を想定した過酸化水素の規格化を進めていく。

第244回衛生常設調査委員会（3月17日）

最新の水質情報について、厚生労働省長坂水道水質管理官から①対象農薬リスト6項目の目標値の変更②告示法における市販混合標準液の使用③ホルムアルデヒド検査法の追加等の説明があった。その後、ISO国際標準化専門委員会におけるISO/TC224/WG9「異常事象検知プロセス」の動向、及びミシガン州フリント市の水道水鉛汚染について報告を行った。

続いて、「降雨に伴う原水かび臭濃度の上昇への注意喚起について」を承認した。また、水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会及び水質試験方法等調査専門委員会等の結果の審議及び状況報告を行い、JWWA K 139（水道用ダクタイトル鋳鉄管合成樹脂塗料）の組成変更に伴う浸出試験による衛生性評価について承認した。

第182回工務常設調査委員会（3月22日）

指定給水装置工事事業者研修テキストの改訂、今後の機械・電気・計装専門委員会の活動、浄水場におけるリスクアセスメント（労働災害防止）の手引き（仮称）の策定について審議したほか、水道事業ガイドライン（JWWA Q 100）改正の報告、水道用ポンプマニュアル・水道用バルブハンドブックの改訂、水質の最新情報、平成28年度配水管工技能講習会の開催、指定給水装置工事事業者制度に係る検討会、給水管等の凍結事故に関するアンケート等について、事務局より報告を行った。



第38回認証制度運営委員会（3月22日）

尾崎理事長の開会挨拶の後、議案として「品質認証事業 平成28年度業務運営目標」について、また「認証に係る費用規則（JWWA-H108）」の改正を含む2規則5要綱の改正について、及び「公平性管理要綱（JWWA-H213）」の制定について審議し、承認された。



続いて報告事項として、「品質認証センターが認めた試験機関」、「平成27年度マネジメントレビュー」、「教育・訓練の実施」等について事務局から報告を行い、了承された。

第12回水道 GLP 運営委員会（3月23日）

日本水道協会は、平成27年度水道 GLP 運営委員会（委員長 眞柄泰基全国簡易水道協議会相談役）を開催し、水道 GLP の審査・認定状況等を報告した。委員会では、水道 GLP システムの運用開始から10年が経過し、124箇所が認定され、日本の水道水質検査機関の検査結果の信頼性向上に役立っていることを確認した。今後もより一層のシステム全体の点検を行うとともに、「公平・中立・平等」の基本理念に沿って、認定機関の増加に対応すべく審査の効率化や審査技術の向上に努め、水道 GLP を更に進展させるようにとの意見が出された。

第944回会誌編集委員会（3月24日）

本誌4月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

第2回地震等緊急時対応特別調査委員会（神戸市開催）（3月25日）

委員会開催地の神戸市見通水道事業管理者、本委員会委員長である本協会尾崎理事長挨拶の後、議事に入った。

はじめに、応援体制検討小委員会（委員長：本協会木村工務部長）、訓練実施方法等検討小委員会（委員長：本協会玉野井調査部長）の検討経過について、両委員会委員長より報告があった。



次に、今後のスケジュール等の審議を行

い、「全国地震等緊急時応援訓練（仮称）」を平成29年度内に実施すること（時期は開催地決定後、開催地と調整）、それに先立ち、「応援要請等情報伝達訓練（仮称）」を実施することが、承認された。

また、神戸市牧委員より、「神戸市における震災対策の取組について」情報提供があったほか、委員会終了後、実際に神戸市の震災対策施設の視察を行った。

第95回検査事業委員会（3月25日）

はじめに、議題(1)「第94回検査事業委員会議事録について」事務局より報告を行い、了承された。

次に議題(2)「検査施行要項の改正について」、①水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管検査施行要項、②水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管検査施行要項、③水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管検査施行要項の改正について、審議を行った。

各検査施行要項の改正については、検査施行要項等専門委員会委員長の中井正人大阪市水道局技術監理担当課長より専門委員会の審議結果についての報告を行い、慎重審議の結果、一部修正することとして全て了承された。

その他、最近の検査実績について事務局より報告を行った。



第23回 JIS 製品認証業務運営委員会（3月25日）

はじめに、議題(1)「委員長の互選について」を事務局より上程し、委員長に東京都水道局の山田廣建設部長が選出された。

次に、議題(2)「第21・22回 JIS 製品認証業務運営委員会議事録について」、事務局より説明し、了承された。

続いて、「JIS B 8570-1（水道メーター及び温水メーター）の追加について」を含めた10件の報告事項について事務局より報告を行い、了承された。



平成27年度第6回理事会（3月28日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」、報告事項2「地震等緊急時対応特別調査委員会の検討経過」について、それぞれ事務局から報告があった。

続いて第1号議案「会員の入会」、第2号議案「公益社団法人日本水道協会平成28年度事業計画書及び収支予算書の承認」、第3号議案「公益社団法人日本水道協会第88回総会の開催及び開催通知の送付」、第4号議案「平成28年度水道イノベーション賞」についての4件が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



第107回水道 GLP 認定委員会（3月30日）

水道 GLP 認定について、認定更新検査機関として八戸圏域水道企業団（認定番号：JWWA-GLP031）、（株）東海テクノ（認定番号：JWWA-GLP082）が、認定維持検査機関として（株）日本環境技術センター（認定番号：JWWA-GLP059）、（株）環境公害センター（認定番号：JWWA-GLP061）、松山市公営企業局（認定番号：JWWA-GLP062）、日本衛生（株）（認定番号：JWWA-GLP106）が、それぞれ審議され決定された。